



HP Jet Fusion 5200 シリーズ 3D 自動取り出しステーション 製品マニュアル基本情報

概要

製品の基本情報です。

法律に関する注記

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する保証書の明示的な記載内容に限られます。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。

目次

HP Jet Fusion 5200 3D 自動取り出しステーションの基本情報	1
概要	1
『ユーザーガイド』の場所	1
法律に関する注記	1
安全に関する注意事項	2
フロントパネル	11
システム エラー	12
電源の仕様	13

HP Jet Fusion 5200 3D 自動取り出しステーション の基本情報

入門となるこのドキュメントでは、法律に関する注記および安全に関する注意事項について説明します。また、フロントパネルの使用について説明し、製品の電源仕様もいくつか示します。

概要

HP Jet Fusion 5200 シリーズ 3D 自動取り出しステーションは、プリント パーツをビルドから取り出し、融解されていないマテリアルを再利用するプロセスを自動化する、産業用ソリューションです。

これにより、後処理の労力が軽減されて、ビルド間での取り出しの一貫性が向上し、ワークフロー全体のパフォーマンスが向上します。

この製品は、HP の自然冷却ユニットおよび自動エクスターナルタンクと互換性があります。プロセスの完了時にパーツを回収するため、取り出しボックスが付属しています。

『ユーザーガイド』の場所

製品の全ドキュメントおよびリソースは、Web から入手できます。

ユーザー ガイドは、<http://www.hp.com/go/jetfusion3d5200AutomaticUnpackingStation/manuals> からダウンロードできます。

詳細情報は <http://www.hp.com/go/jetfusion3d5200AutomaticUnpackingStation/support> から入手できます。

法律に関する注記

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する保証書の明示的な記載内容に限られます。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。

弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。

© Copyright 2021 HP Development Company, L.P.

安全に関する注意事項

取り出しステーションを使用する前に、以下の安全に関する注意事項と操作に関する指示を読んで、装置を安全に使用してください。

適切な技術研修を受け、作業中に遭遇する可能性がある危険性について学び、自分自身はもとより他の人にも及ぶ危険要因を最小限に抑えるために、適切な対策を講じることをお勧めします。

製品を正しく安全に操作するために、推奨されるメンテナンスとクリーニング作業を実施してください。

操作は常に監視される必要があります。

製品は静止させ、権限のある要員のみにアクセス制限された場所に配置する必要があります。

権限のない人は適切なトレーニングを受けていないため、作業領域の危険性について認識していません。そのため、

- 権限のない人が作業領域に近づかないようにしてください。
- 疑わしい場合は、その人に近づいて作業領域から出てもらってください。
- 権限のない人が作業領域にとどまっている間は、作業を中断してください。

一般的な安全に関するガイドライン

次のいずれかの場合、建物の PDU (Power Distribution Unit: 電力分配装置) にある分岐ブレーカーを使用してすべての装置の電源を切り、サービス担当者に連絡してください。

- 電源コードが損傷した。
- 製品がなんらかの衝撃によって破損している。
- 製品に液体が入った。
- 製品から煙が出たり、異様な臭いがする。
- ヒューズが飛ぶ。
- 製品が正常に動作しない。
- 機械的な破損またはエンクロージャの破損が発生している。

次のいずれかの場合には、分岐ブレーカーを使用してすべての装置の電源を切ってください。

- 雷雨時
- 停電時

製品は指定された動作温度と湿度範囲でのみ操作してください。サイト準備ガイドは、<http://www.hp.com/go/jetfusion3d5200AutomaticUnpackingStation/manuals/>からダウンロードできます。

製品を設置する取り出し領域では、液体の流出や結露発生を抑える必要があります。

製品の電源を入れる前に、内部に結露がないことを確認してください。

作業現場に十分な照明があることを確認します。

必ず、製品の下 0.5 m の領域やエクスターナルタンクを含む作業領域を定期的にクリーニングしてください。

点検時は、メイン スイッチが許可なく再接続されないように保護してください。

警告ラベルが付いている部分には特に注意してください。

HP 認定および HP ブランドの素材とエージェントのみを使用してください。承認されていないサードパーティ製の素材やエージェントを使用しないでください。

予期しない故障、異常、ESD (静電気放電)、または EMI (電磁妨害) が発生した場合は、緊急停止ボタンを押して製品を接続解除してください。問題が解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。

最終パーツ/ビルド

3D 印刷で製造するパーツに関連するリスクやパーツから発生するリスクはすべてお客様の責任に委ねられます。

何らかの用途、特に米国、EU、その他の行政機関によって規制された用途 (医学/歯科、食品に接触するもの、自動車、重工業、および消費財を含みますが、これらに限定されません) に対する製品および/または 3D 印刷で製造するパーツの適切性および適用される規制への準拠の評価ならびに判断は、お客様の単独責任に委ねられます。

爆発の危険性

爆発の危険を回避するため、注意が必要です。

⚠ 警告！ 粉塵により爆発性混合物が形成されることがあります。静電気放電に対する予防策を講じ、発火源を近づけないでください。

注: 装置の設置は標準的な場所のみを想定しており、危険な場所や ATEX の指定ゾーンに設置することは想定していません。

爆発の恐れを防止するため、以下の注意事項に従ってください。


- 装置または素材の保管場所の近辺では、喫煙、溶接、ろうそくや裸火の使用を禁止する必要があります。
- 埃の堆積を防ぐために、定期的に耐爆性の掃除機で装置の内側と外側をクリーニングする必要があります。埃を掃いたり、圧縮空気のエアガンで取り除こうとしないでください。
- クリーニングには耐爆性の掃除機が必要になります (可燃物の埃のため)。素材がこぼれないようにするための対策を講じ、ESD (静電気放電)、裸火、火花のような発火源を近づけないようにしてください。付近で喫煙しないでください。
- 製品やアクセサリは、適切に接地された商用電源コンセント以外に接続しないでください。内部結線に手を加えないでください。静電気放電または電気火花が発生した場合は、操作を停止し、製品を接続解除してからサービス担当者に連絡してください。
- HP 認定および HP ブランドの素材とエージェントのみを使用してください。承認されていないサードパーティ製の素材やサードパーティ製のエージェントを使用しないでください。
- HP アクセサリを使用して 3D パーツを取り出すことをお勧めします。他の方法を使用する場合は、次の注記をお読みください。
 - 取り扱い時および/または保管時に発生する粉塵により爆発性の混合気が形成されることがあります。粉塵爆発の特性は、粒子のサイズ、粒子の形状、含水量、汚染物質、その他の要因によって異なります。
 - 電気分類要件に従って、すべての装置が正しく接地され、取り付けられていることを確認してください。あらゆる乾燥素材と同様に、この素材を注ぎ込んだり、シュートやパイプから自由落下させた

り供給した場合は、静電気が蓄積して火花が発生し、素材自体、または素材やコンテナと接触する可燃性の素材が発火する可能性があります。

- 素材の保管、取り扱い、および廃棄は地域の法律に従って行ってください。地域の EHS (Environmental, Health and Safety: 環境、衛生、安全) の手順に従ってください。詳細については、安全性データシート (SDS) を参照してください。これには、<http://www.hp.com/go/msds> からアクセスできます。
- 製品は危険場所に設置しないでください。操作中に可燃性の粉塵が発生するおそれのある他の装置に近づけないでください。
- サンドブラストのようなポストプロセッシング用補助装置は、可燃性の粉塵に適したものを使用する必要があります。
- 火花や素材の流出が認められた場合は、直ちに操作を停止し、操作を継続する前に HP サービス担当者に連絡してください。
- 可燃物のほこりを扱う場合は、すべての人が伝導性または散逸性の履物や服装、および伝導性の床材を使用して、静電気を帯びないようにする必要があります。
- ユーザーとオペレーターは、地域の法律と会社の要件に従って、クリーニング作業中に生じる爆発性雰囲気や関連する危険に関するトレーニングを受けている必要があります。
- エクスターナルタンクは、静電気接地用クランプを使用して接地ポイントに接続します。

感電による危険


感電の危険を回避するため、注意が必要です。

 **警告！** 電気制御キャビネットおよび取り出しステーション内の内部回路は、死亡または重大な人身事故につながる可能性のある危険な電圧で動作します。

保守作業を行う前に、建物の PDU (Power Distribution Unit: 電力分配装置) にある分岐ブレーカーを使用して装置の電源を切ってください。装置は、接地された電源コンセントのみに接続する必要があります。

感電の恐れを防止するため、以下の点を守ってください。

- 内部回路エンクロージャ、取り出しステーションまたは電気制御キャビネットは、ハードウェア メンテナンス作業を行うとき以外、分解しないでください。これらの装置を分解する場合は、厳密に指示に従って分解してください。
- 閉じられたシステムのカバーや差し込み口を取り外したり開いたりしないでください。
- 異物を装置のスロットに差し込まないでください。
- 残留電流ブレーカー (RCCBs) の機能を 1 年ごとにテストしてください。

 **注記:** ヒューズが飛ぶ場合は、装置内の電気回路が故障している可能性があります。サービス担当者に連絡してください。自身でヒューズを交換しようとししないでください。

熱による危険

バキュームポンプがアクセス可能なパーツは高温になる可能性があるため、触るとやけどの危険性があります。

怪我を防止するため、以下の注意事項に従ってください。

- メンテナンス領域に触れる場合は、特に注意してください。製品の温度が下がってからカバーを開けてください。
- 警告ラベルが付いている部分には特に注意してください。
- 製品が動作しているときは、その内部に物を置かないでください。
- 稼動中に、エンクロージャを覆わないでください。
- 必ず製品の温度が下がってからメンテナンス操作を実行してください。
- ビルドユニットからパーツを取り出す前に、少なくとも最小冷却時間が経過するまでお待ちください

発火の危険

取り出しステーションのバキューム サブシステムおよび振動サブシステムは高温で稼動しています。内蔵の残留電流ブレーカー（漏電遮断器）が繰り返し落ちる場合は、サービス担当者に連絡してください。

発火の恐れを防止するため、以下の注意事項に従ってください。

- 製品プレートに示された電源電圧を使用してください。
- 電源コードは、サイト準備ガイドの詳細情報に従って分岐ブレーカーによって保護された専用の線に接続してください。
- 異物を製品のスロットに差し込まないでください。
- 液体が製品にこぼれないように注意してください。清掃後、すべてのコンポーネントが乾いていることを確認してから製品の使用を再開してください。
- 可燃性ガスを含むエアゾール製品を、取り出しステーションの内部または周囲で使用しないでください。爆発性ガスが大気中に存在する場合は動作させないでください。
- 製品の開口部を遮断したり、覆わないでください。
- 電気制御キャビネットやエンクロージャを改造しないでください。
- 製品が本来の目的のために安全に動作するように、適切なメンテナンスと HP 純正の消耗品が必要です。HP 純正品以外の消耗品を使用すると火災が発生する恐れがあります。
- 警告ラベルが付いている部分には特に注意してください。
- 上部カバー、エンクロージャ、または換気口を物で覆わないでください。
- メンテナンスや点検の実施後に、工具やその他の物質を製品内部に置き忘れないでください。

消火剤には、二酸化炭素、水スプレー、乾式化学薬品、または泡が適しています。

⚠ 注意: 火災が広がる可能性があるためウォータージェットを使用しないでください。

⚠ 警告! 使用する素材によっては、偶発的な火災が発生した場合に、有害物質が大気中に放出される場合があります。自蔵式プレッシャデマンド型呼吸器と完全な防護服を着用してください。EHS の専任担当者は、<http://www.hp.com/go/msds> から取得可能な各素材の安全データシート (SDS) を確認し、各設置場所に適した対策についてアドバイスしてください。

機械的危険

取り出しステーションには人身事故の原因になる可能性のある可動部分があります。

怪我の防止のため、製品の近くで作業する場合は、以下の注意事項に従ってください。

- 衣服や身体を可動部分に近づけないようにしてください。
- ネックレス、ブレスレットなど、垂れ下がる物体の着用は避けてください。
- 長髪の場合は、頭髮が製品内に落下しないように束ねてください。
- 袖や手袋が可動部分に巻き込まれないように注意してください。
- ファンの近くに立たないでください。怪我の原因となる可能性があります。
- カバーがかかっている状態で製品を動作させないでください。
- 故障したコンポーネントは交換するか修理してください。予備部品と磨耗部品は純正品のみを使用してください。
- 上部カバーを開いたり閉じたりする際には注意が必要です。手を挟む恐れがあります。
- エクスターナルタンクは慎重に取り扱ってください。トレーニングを受けた担当者のみがシステムを操作する必要があります。
- パーツの取り外しプロセス中、および取り出しドアが開いた状態でプラットフォーム領域のメンテナンスを実行する際は、注意が必要です。指を切る恐れがあります。
- 安定した状態を保ち、転倒を防ぐため、取り出しステーションは平らな面に設置して、ネジ式の足で所定の位置に固定する必要があります。

化学的な危険性

化学物質に対する気中浮遊物質への曝露の可能性を適切に管理するために、十分な換気が必要です。

消耗品（素材およびエージェント）の化学成分については、<http://www.hp.com/go/msds> から取得可能な安全性データシートを参照してください。それぞれの設置場所での適切な測定に関しては、通常の空調またはEHSの専任担当者のアドバイスに従ってください。

HP 認定の素材とエージェントのみを使用してください。承認されていないサードパーティ製の素材やサードパーティ製のエージェントを使用しないでください。

⚠ 警告！ マテリアルの処理時、およびナチュラル クーリング ユニットの使用時に危険物質が放出されることがあります。このため、最小限推奨される換気装置が部屋にあることを確認してください（サイト準備ガイドを参照）。

⚠ 警告！ 危険物質が（エージェントから生じる揮発性有機化合物、つまり VOC の形で）表面で凝縮している可能性があります。化学物質への接触のリスクを減らすため、個人用保護具を着用してください（[8 ページの保護用具](#)を参照）。

通気

システムを設置する部屋が地域の環境、衛生、安全（EHS）ガイドラインおよび規定を満たしていることを確認してください。

健康への危害を避け、快適性を維持するには外気換気が必要です。十分な換気を確保するための規定に則したアプローチについては、最新の ANSI/ASHRAE (American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers) の文書「*Ventilation for Acceptable Indoor Air Quality*」を参考にしてください。

安全性データシートに従って、素材およびエージェントに対する気中浮遊物質への曝露の可能性を適切に管理するために、十分な換気が必要です。消耗品（マテリアルおよびエージェント）の化学成分、および適切な換気については、<http://www.hp.com/go/msds> に提供されている安全性データシート(SDS)のセクション 8 にある「適切なエンジニアリング コントロール」を参照してください。

空気中のマテリアルは、既存の屋内気質検査プロトコルに従うことで簡単に識別および計測を行うことができます。HP ではすべての製品の開発段階でこれら評価を実施しています。

危険物質の濃度の量に応じて、作業スペースに合った個人用保護具の選択を検討してください。地域の規制に従った技術的手段や適切な作業手順を、個人保護具の使用よりも優先してください。

空調

健康への害を避けるための外気換気に加え、適切な気候動作環境を整えて作業現場の環境レベルを維持することで、オペレータの不快感や機材の故障を防ぐことができます。

すべての装置設置の場合と同様に、設置場所での周囲の快適性レベル、空調を維持する場合には、装置からの排熱を考慮する必要があります。通常、取り出しステーションの電力損失は 2.0 kW です。

地域の EHS (Environmental, Health and Safety: 環境、衛生、安全) のガイドラインおよび規定を満たす空調が必要です。部屋の空調の設置および取り出しステーションの配置を計画する際には、以下の手順に慎重に従ってください。

- 空調設備装置の排気が取り出しステーションにかからないようにしてください。
- 空調のスプリット/ディフューザーは、取り出しステーションの表面およびカバーから、少なくとも 2 メートル離して配置する必要があります。
- 空調のスプリット/ディフューザーは回転式にする必要があり、正流や層流を回避します。空調システムからの空気は、取り出しステーションに届く前に部屋の既存の空気と適切に混合される必要があり、取り出しステーションの表面に直接かからないようにする必要があります。
- 加湿器を使用する場合は、吸気口での極度の高湿度を防止するために、取り出しステーションの横に置かないでください。

音圧レベル

ISO 4871 に従った定格二重騒音放射値。最悪のバイスタンダ位置に対応しており、取り出しステーションの背面にあります。取り出しプロセス中に ISO 11202 に従って測定されたものです。

- $L_pA = 78 \text{ dB(A)}$ (取り出し中に測定)
- $K_pA = 4 \text{ dB}$

地域の法律に従って、聴力保護具の着用が必要になる場合があります。EHS の専任担当者にお問い合わせください。

自然冷却ユニットの移動の危険

怪我を避けるため、自然冷却ユニットを移動する場合は特に注意が必要です。

- 必ず、長靴や手袋などの保護用具を着用してください。
- 自然冷却ユニットの移動に使用する台車は、ハンドルのみを使用して操縦してください。
- 自然冷却ユニットは段差のないスムーズで平らな面を移動させてください。
- 移動には注意を払い、素材がこぼれることがあるため、衝撃を加えないようにしてください。
- 自然冷却ユニットを動かしていないときは、手前のキャスターをロックします。動かす直前にロックを解除することを忘れないでください。

自然冷却ユニットを他の部屋に移動する場合は、一定の環境条件に維持する必要があることを忘れないようにしてください。

保護用具

お客様の作業環境に何らかの危険が要因がある場合は、保護用語を使用して危険から保護してください。


HP では、マテリアルの取り扱い、パーツの取り出し、特定のメンテナンスおよびクリーニングタスクに使用できる以下の装備を推奨しています。


- 握り面が不規則で柔軟性があり、最大 200°C まで耐える耐熱手袋 1 人 1 組
- 化学薬品に対する保護手袋 (結露を取り除く際に着用)
- 伝導性または静電気拡散性のあるフットウェアと衣服
- 有機化合物の蒸気を吸い込まないようにするためのマスク
- ほこりの多い環境の場合はマスクまたはゴーグル
- 必要に応じて聴覚保護

ツールの使用

一部のメンテナンス作業を除き、通常は道具は必要ありません。


- **ユーザ:** 取り出しステーションの設定、取り出し、毎日のチェックなどの日常的な作業。ツールは必要ありません。
- **メンテナンス担当者:** ハードウェア メンテナンス作業および CSR (Customer Self-Replaceable) 部品の交換には、ユーザー ガイドで説明されているドライバが必要になる場合があります。


 **警告!** 危険な場所や ATEX の指定ゾーンでは、適切な工具 (アンチスパークなど) を使用してください。

 **注記:** 設置中に、担当者は製品の安全な操作およびメンテナンスのためのトレーニングを受講します。このトレーニングを受講することなく製品を使用しないでください。

警告および注意

このマニュアルでは、製品の適切な使用と、破損防止のために、以下の警告および注意記号を使用します。これらの記号の付いた指示に従ってください。

 **警告!** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。

 **注意:** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、人身事故または製品の破損につながる恐れがあります。

警告ラベル

これらのラベルは、取り出しステーションのパーツに貼り付けられています。

表 1 警告ラベル

ラベル紙	説明
	<p>感電による危険</p> <p>バキュームポンプと振動サブシステムは、危険な電圧で動作します。プリンタの保守作業を行う前に、電源コードを取り外してください。</p> <p>開始する前に</p> <p>取り出しステーションの電源を入れる前に、操作と安全に関する指示をお読みになり、それらの指示に従ってください。</p>
<p>サービス担当者のみ対象</p> 	<p>火傷の恐れ。内部パーツには、取り出しステーションの温度が下がってからアクセスしてください。</p>
	<p>マテリアル カートリッジ、エージェント、プリントヘッド、プリントヘッド クリーニング ロールの取り扱い時、メンテナンスおよびクリーニング作業時には、手袋を着用する必要があります。化学保護手袋が適しており、EN 374 に従ってテストする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 手袋の素材: NBR (ニトリル ゴム) ● 厚さ 0.11 mm 超 ● 破過時間 480 分超 (浸透リープ 6) <p>パーツを取り出すときには、1 人 1 組耐熱性手袋の着用をお勧めします。処理されるマテリアルによっては、温度が最大 200°C になります。</p>
	<p>フィルタを交換するときには、安全マスクの着用をお勧めします。</p>
	<p>しっかりと密着する安全ゴーグルを着用する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最初の 7 回のフルビルド チャンバー ジョブの場合 ● フィルターの交換時 ● メンテナンスおよびクリーニング タスク時

表 1 警告ラベル (続き)

ラベル紙	説明
	<p>警告！ 粉塵により爆発性混合物が形成されることがあります。静電気放電に対する予防策を講じ、発火源を近づけないでください。</p> <p>装置または素材の保管場所の近辺では、喫煙、マッチや裸火の使用を禁止します。</p>
	<p>クリーニングには、可燃性粉塵の吸引認定のある防爆掃除機が必要です。</p> <p>素材がこぼれないようにするための対策を講じ、ESD (静電気放電)、裸火、火花のような発火源を近づけないようにしてください。付近で喫煙しないでください。</p> <p>地域の法律に従って廃棄してください。</p>
 <p>メンテナンスおよびサービス担当者のみ対象</p>	<p>感電の危険。プリンタの保守作業を行う前に、電源コードを取り外してください。バキュームポンプと振動サブシステム、および電気キャビネットは、危険な電圧で動作します。</p>
	<p>指の切断の危険。可動部品に触れないでください。</p>
	<p>挟まれるの恐れがあります。可動部品に手を近づけないでください。</p>
 <p>メンテナンスおよびサービス担当者のみ対象</p>	<p>可動部品に注意。可動部品、ロックフック、ピストンには触れないでください。</p>
 <p>PE</p>	<p>資格を持つ電気技術者を対象に PE (Protective Earth: 保護アース) 端子、メンテナンス/サービス担当者のみを対象に接地端末を示します。電源に接続する前に、必ずアース接続を行ってください。</p>

緊急停止ボタン

取り出しステーションには、緊急停止ボタンがあります。緊急事態が発生した場合は、緊急停止ボタンを押すと、すべてのプロセスが停止します。

バキューム システム、モーター、およびプラットフォームが停止します。システム メッセージが表示されます。

取り出しステーションを再起動する前に、緊急停止ボタンが解除されていることを確認してください。

安全上の理由により、取り出し中は取り出し領域にアクセスできません。取り出しステーションの温度が下がってから内部のものに触れてください。

取り出しステーションを完全に停止するには、電源を切ります。

フロントパネル

フロントパネルは、グラフィカル ユーザ インタフェースを備えた、タッチセンサー式画面です。

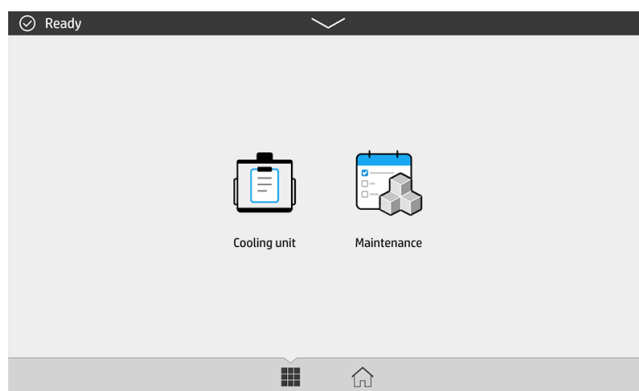
フロントパネルでは取り出しステーションのすべてを制御することができ、デバイスに関する情報の確認、デバイス設定の変更、デバイス ステータスの監視、サプライ交換やキャリブレーションなどのタスク実行が可能です。必要に応じてフロントパネルには、アラート(警告およびエラー メッセージ)が表示されます。



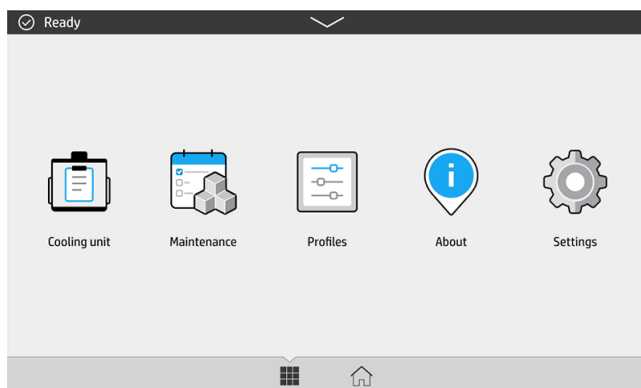
ホーム画面

トップレベルの画面が2つあり、画面上で指をスライドさせるか、画面の下部で適切なボタンをタップすることで、画面を変えることができます。

- メイン画面からは、最も重要な機能に直接アクセスできます。



- 全アプリケーション画面には、使用可能なすべてのアプリケーションのリストが表示されます。



システム エラー

フロントパネルは随時システム エラーを表示します。これは 12 桁の数字コードと推奨される措置で構成されています。

多くの場合、取り出しステーションの再起動が要求されます。起動すると、問題をさらに的確に診断できることがあり、場合によっては問題が自動的に解決されます。再起動後も問題が解決しない場合は、サービス担当者にお問い合わせください。その際には、エラー メッセージの数字コードをお手元にご用意ください。エラー メッセージにその他の推奨事項が含まれている場合は、その手順に従ってください。

電源の仕様

取り出しステーションは、380～480 V の電気設定をサポートしています。

電源系統が常時安定してこの仕様を満たすことを確認できる場合には、UPS の設置は不要です。ただし、電圧降下が低すぎて高品質の電源を供給できない場合、取り出しステーションにシステム エラーが表示されます。そのため、主電源に関連するエラーが取り出しステーションに表示される場合、UPS を設置して必要最低の入力電圧を確保する必要があります。

ライン間で 380～480V の三相設定

自動取り出しステーションの電源は、入力電圧が 380～480V になっています。

表 2 自動取り出しステーションの仕様

説明	仕様
電源コードの本数	3 線 + PE
入力電圧 (ライン間)	380～480V～ (±10%)
入力周波数	50/60Hz
最大負荷電流 (一相あたり)	16 A

表 3 分岐ブレーカーの仕様

説明	仕様
分岐ブレーカー	3 極、16A

表 4 電源ケーブルの仕様

説明	仕様
設定	3 線 + PE
最小断面領域	2.5 mm ²
端末	フェルール型端子
外径の範囲	9 mm～17 mm